

最新の裁判例・改正法に基づく 商品・パッケージのデザイン、商標の保護と最適な権利取得 ～商標法・意匠法・不競法・著作権法、どの法律を使って守るのがベストなのか？ 商品の特性に合わせた選択の考え方～

平成29年3月3日(金) 10:00～17:00

講師 青木 博通 氏 ユアサハラ法律特許事務所 パートナー・弁理士



- ◆商品の売れ行きを左右する商品やパッケージのデザインと商標を、如何に効果的に保護するか、最新の裁判例・改正法に基づき、意匠法、商標法、不正競争防止法、著作権法に分けて、出願のバリエーション、各保護要件、侵害判断基準について説明します。
- ◆また、各法律による保護のメリット・デメリットを解説して、商品・パッケージデザインの種類に応じた複合的な使い分けについて解説します。
- ◆そして、最後に、米国、欧州、中国における保護の留意点について、商標・意匠の国際登録制度と合わせて解説します。

【解説内容】

- I パッケージデザインの種類
 - 1. パッケージ (箱、ボトル)
 - 2. ラベル (文字、図形、キャラクター)
 - 3. その他 (商品の形状、タッチポイント、広告)
- II 意匠法による保護
 - 1. 出願の種類 (部分、関連、組物、秘密、動的意匠)
 - 2. 権利取得上の留意点
 - 3. 裁判例と侵害判断基準
- III 商標法による保護
 - 1. 文字・図形・立体・色彩・動き・ホログラム・位置・音による保護
 - 2. 権利取得上の留意点
 - 3. 裁判例と侵害判断基準
- IV 不正競争防止法による保護
 - 1. 3つの保護のバリエーション (混同、著名、デッドコピー)
 - 2. 保護要件
 - 3. 裁判例と適用例 (パッケージの稀釈化)
- V 著作権法による保護
 - 1. 著作物性
 - 2. 保護要件
 - 3. 裁判例と侵害判断基準 (トリップトラップ知財高裁判決)
- VI 各法律の保護のメリット・デメリットと使い分け
- VII 改正商標法の下における意匠と商標の新たな関係 (意匠なのか、商標なのか)
- VIII デザインによるブランド確立
- IX 海外における保護の留意点
 - 1. 米国 (デザインパテント、コモン・ロー)
 - 2. 欧州 (欧州共同体商標規則・同意匠規則)
 - 3. 中国 (不競法の整備が遅れている、主役は意匠)
 - 4. 商標・意匠の国際登録 (WIPO)

◇弁理士の皆様へ この研修は、日本弁理士会の継続研修として申請中です。本講座を受講し、所定の申請をすると、外部機関研修として5.5単位が認められる予定です。

◇本講座は、企業や法律・特許事務所における実務経験2年～5年の方々にとって、最適な講座です。

◆日時：平成29年3月3日(金) 10:00～17:00

◆会場：発明会館7階 研修ルーム

◆定員：50名

◆講師：青木 博通 氏 ユアサハラ法律特許事務所 パートナー・弁理士

◆受講料：会員16,500円・一般19,000円 (※消費税8%込み)

◆申込：FAXもしくは、HPからお申込下さい。(http://www.jiii.or.jp 「知財 ist 研修・スポット講座他」)